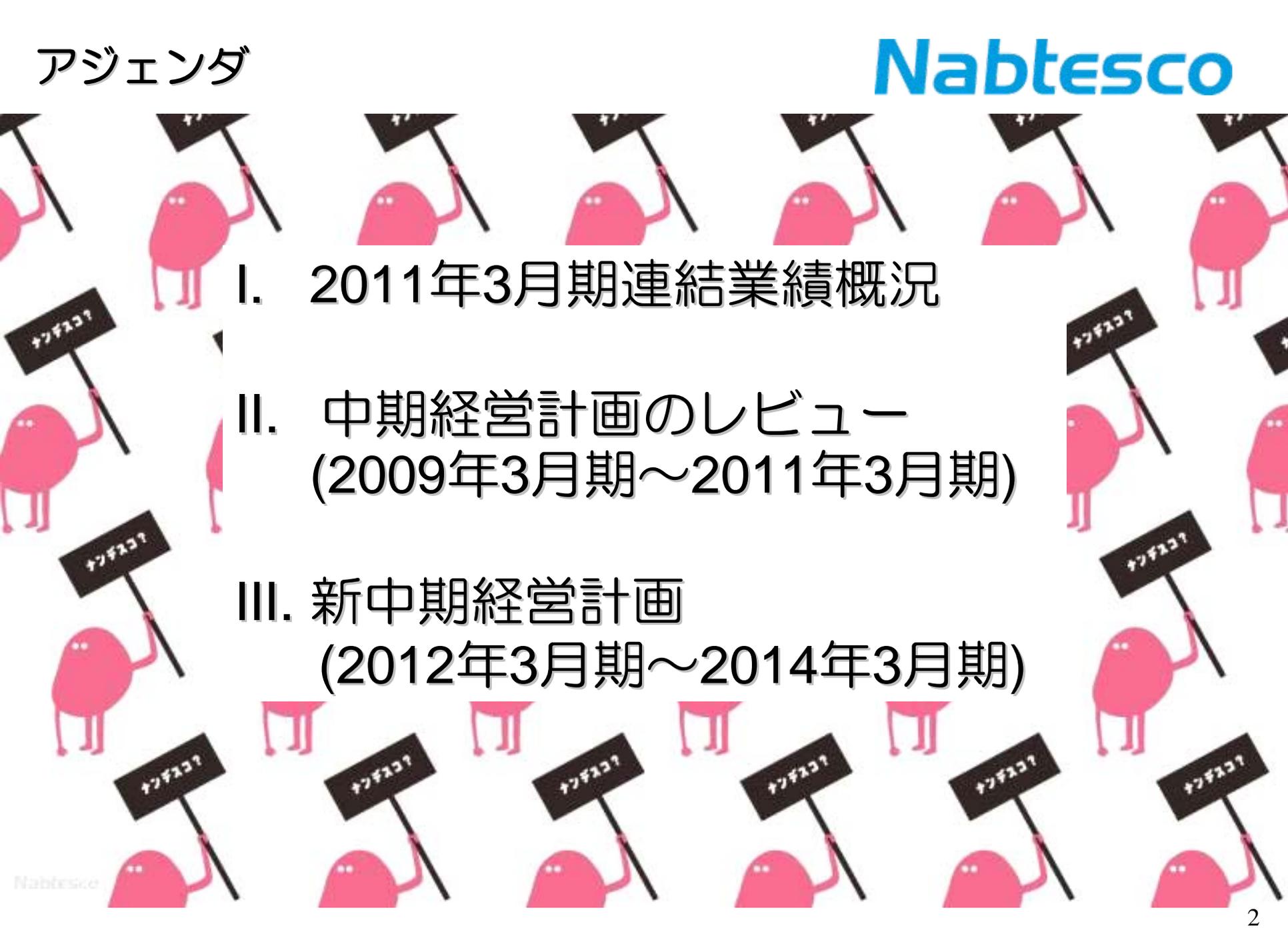


# 2011年3月期決算 および 新中期経営計画説明会

2011年5月17日

**Nabtesco Corporation**

当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

- 
- I. 2011年3月期連結業績概況
  - II. 中期経営計画のレビュー  
(2009年3月期～2011年3月期)
  - III. 新中期経営計画  
(2012年3月期～2014年3月期)

- 
- I. 2011年3月期連結業績概況
  - II. 中期経営計画のレビュー  
(2009年3月期～2011年3月期)
  - III. 新中期経営計画  
(2012年3月期～2014年3月期)

# 業績概況 (前期比)

# Nabtesco

(単位:百万円)	2010/3	2011/3	増減	率
売上高	126,249	169,303	43,054	34.1%
営業利益	7,964	20,212	12,247	153.8%
(営業利益率)	(6.3%)	(11.9%)	—	—
営業外損益	1,373	2,153	780	—
経常利益	9,337	22,365	13,027	139.5%
特別損益	-1,326	-411	915	—
税金等調整前 当期純利益	8,011	21,954	13,942	—
当期純利益	4,017	13,387	9,370	233.2%
一株当たり 純利益	31.70円	105.88円	74.18円	

### Remarks: 売上高

- 2011/3は産業用ロボット需要の急回復及び中国をはじめ新興国建機需要の増加により増収。

### Remarks: 特別損益 (損失の主な内容)

- 2010/3
 

山形工場テストコース減損損失	401百万円
商用車用機器事業分社化に伴う事業構造改善費用等	759百万円
油圧機器国内工場集約引当金	210百万円
- 2011/3
 

航空機器事業における解約補償金	221百万円
-----------------	--------

一株当たり 配当金	9円	25円(予)	16円
--------------	----	--------	-----

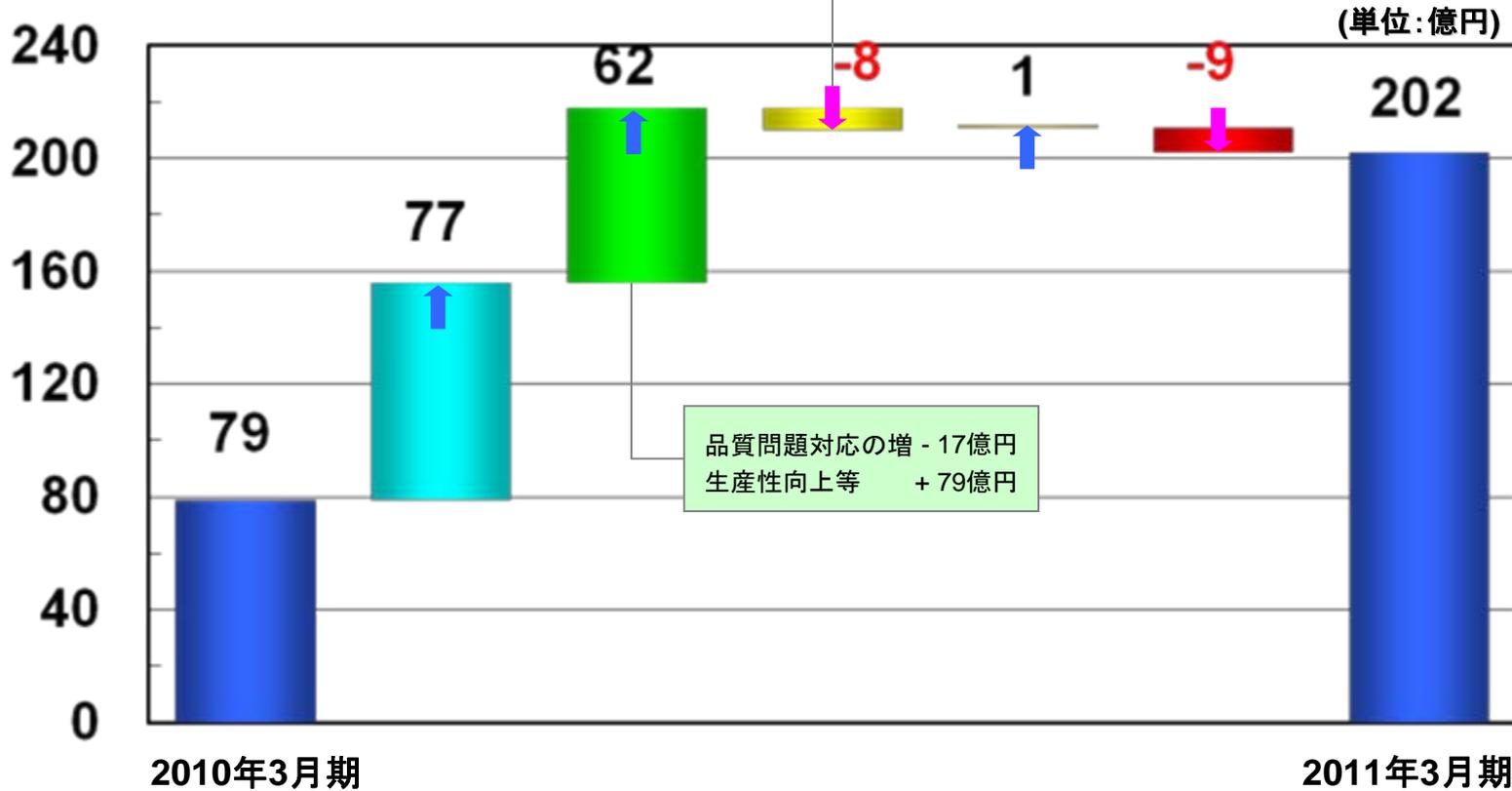
### Remarks: 一株配当金

- 期首予想 18円

# 通期連結損益実績 (営業利益変動分析)

- 売上の増
- 生産性向上・品質費用の増等
- 為替影響 ■ 減価償却費の減 ■ 販管費の増等

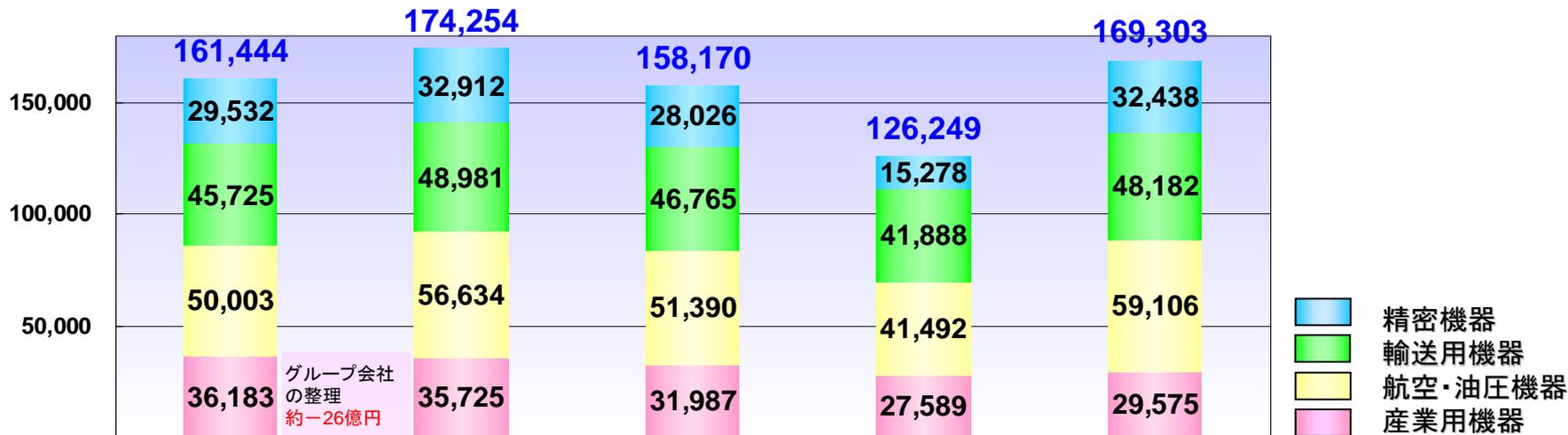
10/3(実績) US\$1=¥92.61 RMB1=13.7  
 11/3(実績) US\$1=¥85.22 RMB1=12.9



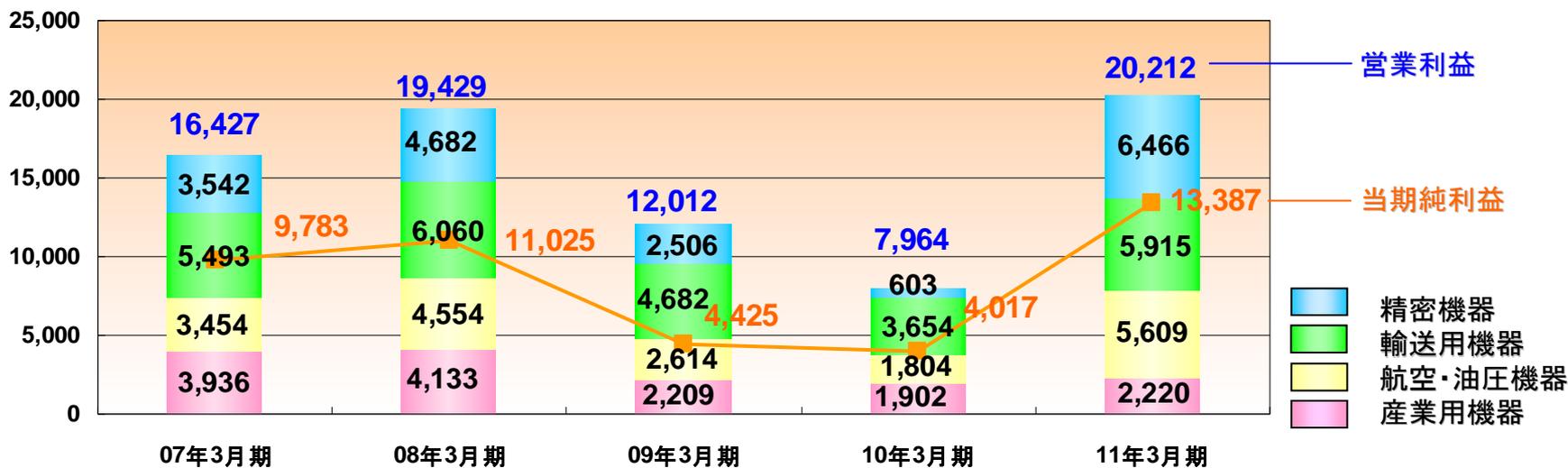
# 事業セグメント別 売上高・営業利益推移

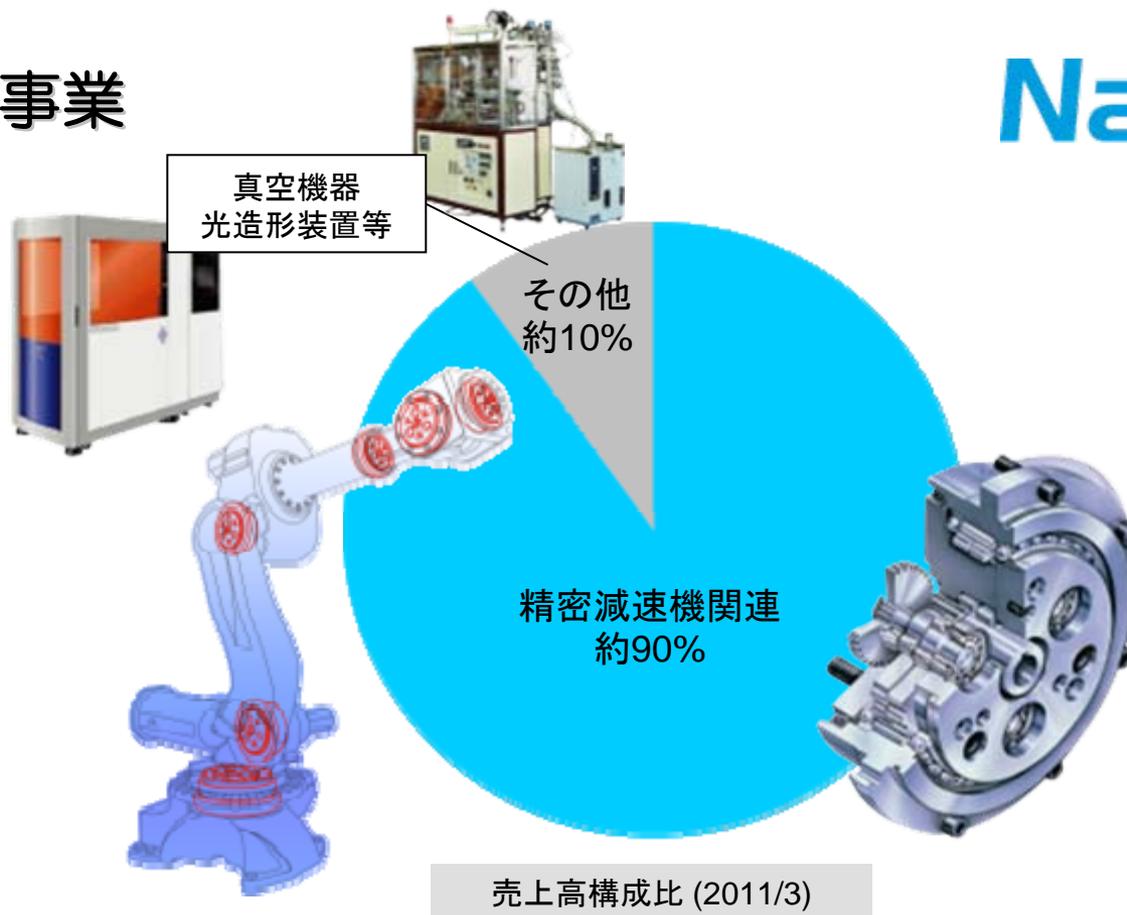


(百万円) 売上高



(百万円) 営業利益・当期純利益





## 主要製品と顧客 (敬称略)

### ●精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、KUKA (独)、ABB (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、森精機製作所

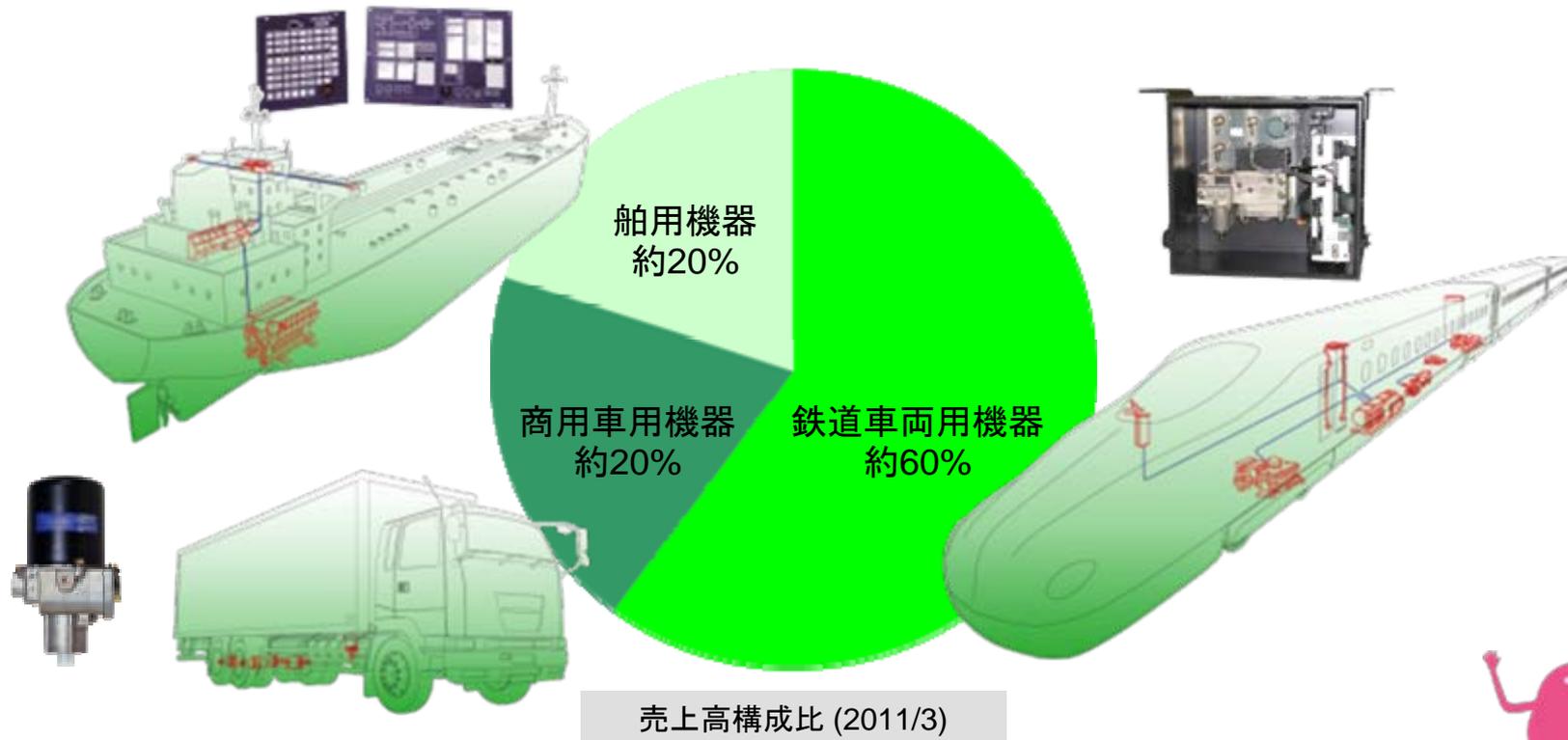
半導体製造装置：東京エレクトロン

## 2011年3月期実績

(単位:百万円)	2010/3	2011/3	増減	率
売上高	15,278	32,438	17,160	112.3%
営業利益	603	6,466	5,863	971.7%
営業利益率	3.9%	19.9%		

### Notes: 精密減速機

- 産業用ロボット: 国内外自動車メーカー設備投資の急回復により大幅な増収。
- 工作機械: 中国をはじめ新興国での需要が回復も、未だピーク時には及ばず。
- 製造費用を大きく改善した状況で市況が急回復し、大幅増益。Q4の営業利益率は増産並びに納期対応費用の前倒し発生により大きく落ちた。



## 主要製品と顧客 (敬称略)

### ●鉄道車両用機器 ブレーキシステム ドア開閉装置

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け、他

### ●船用機器 ディーゼルエンジン遠隔制御装置

川崎重工業、三井造船、日立造船、三菱重工業、ディーゼル ユナイテッド、Hyundai Heavy Industries (韓)、MAN Diesel (デンマーク)

### ●商用車用機器 エアブレーキ周辺機器

いすゞ自動車、三菱ふそうトラック・バス、日野自動車、UDトラックス

## 2011年3月期実績

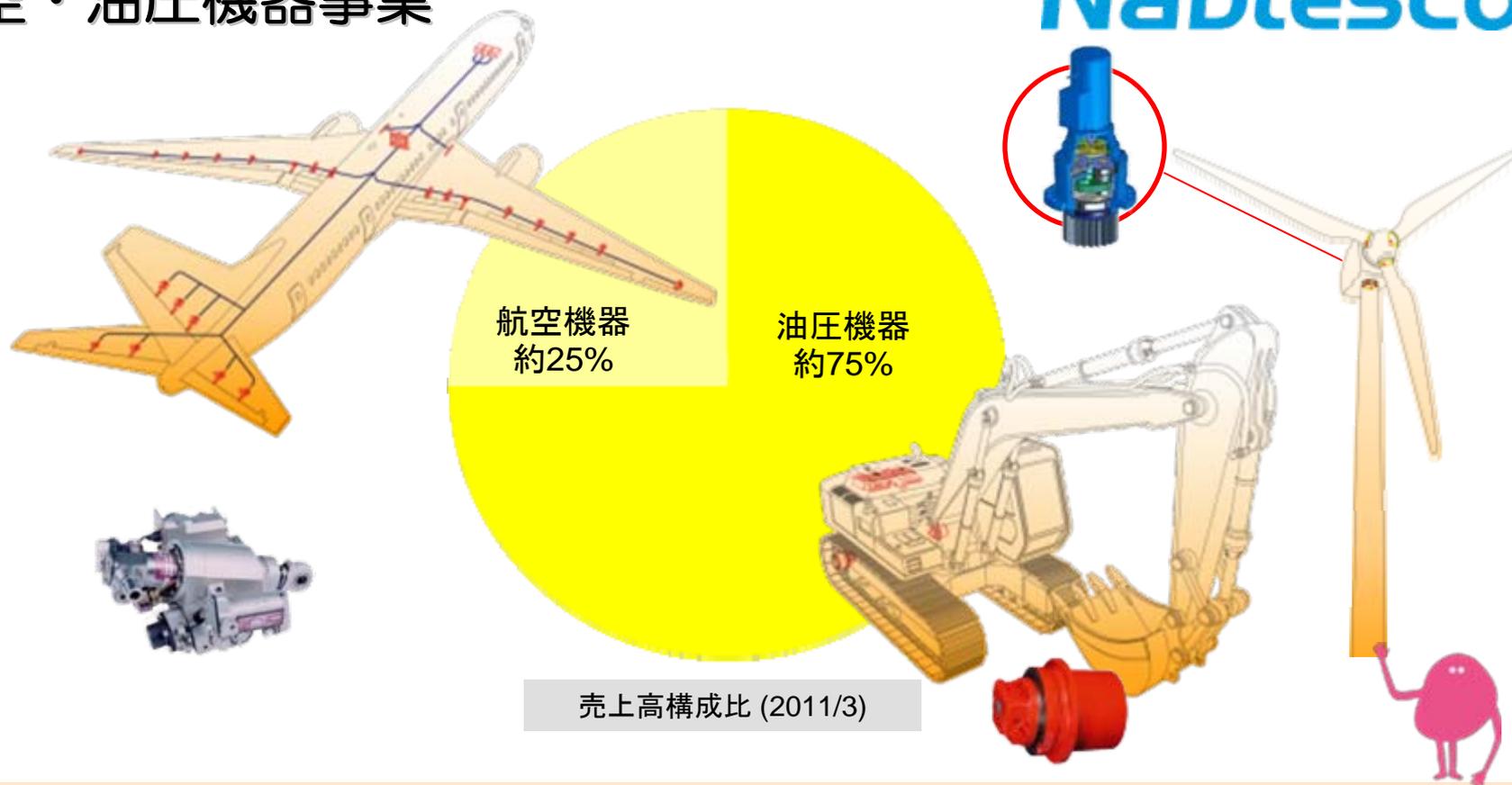
(単位:百万円)	2010/3	2011/3	増減	率
売上高	41,888	48,182	6,294	15.0%
営業利益	3,654	5,915	2,261	61.9%
営業利益率	8.7%	12.3%		

### Notes:

- 鉄道車両用機器：国内需要横ばいも中国向けの拡大により増収。
- 商用車用機器：上期の政府補助金による国内需要の回復及び完成車の輸出拡大により増収。
- 船用機器：新造船建造隻数堅調も、円高による販売価格低下により減収。
- 鉄道車両用機器の品質補償費用が引き続き発生するも、増収効果、及び商用車機器の構造改革が貢献し、増益。

# 航空・油圧機器事業

# Nabtesco



## 主要製品と顧客 (敬称略)

### ●油圧機器

走行モーター: コマツ、コベルコ建機、住友建機、三一(中)、柳工(中)、玉柴(中)、Doosan(韓)

風力発電機用駆動装置: 三菱重工業、他

### ●航空機器 フライトコントロールアクチュエーションシステム

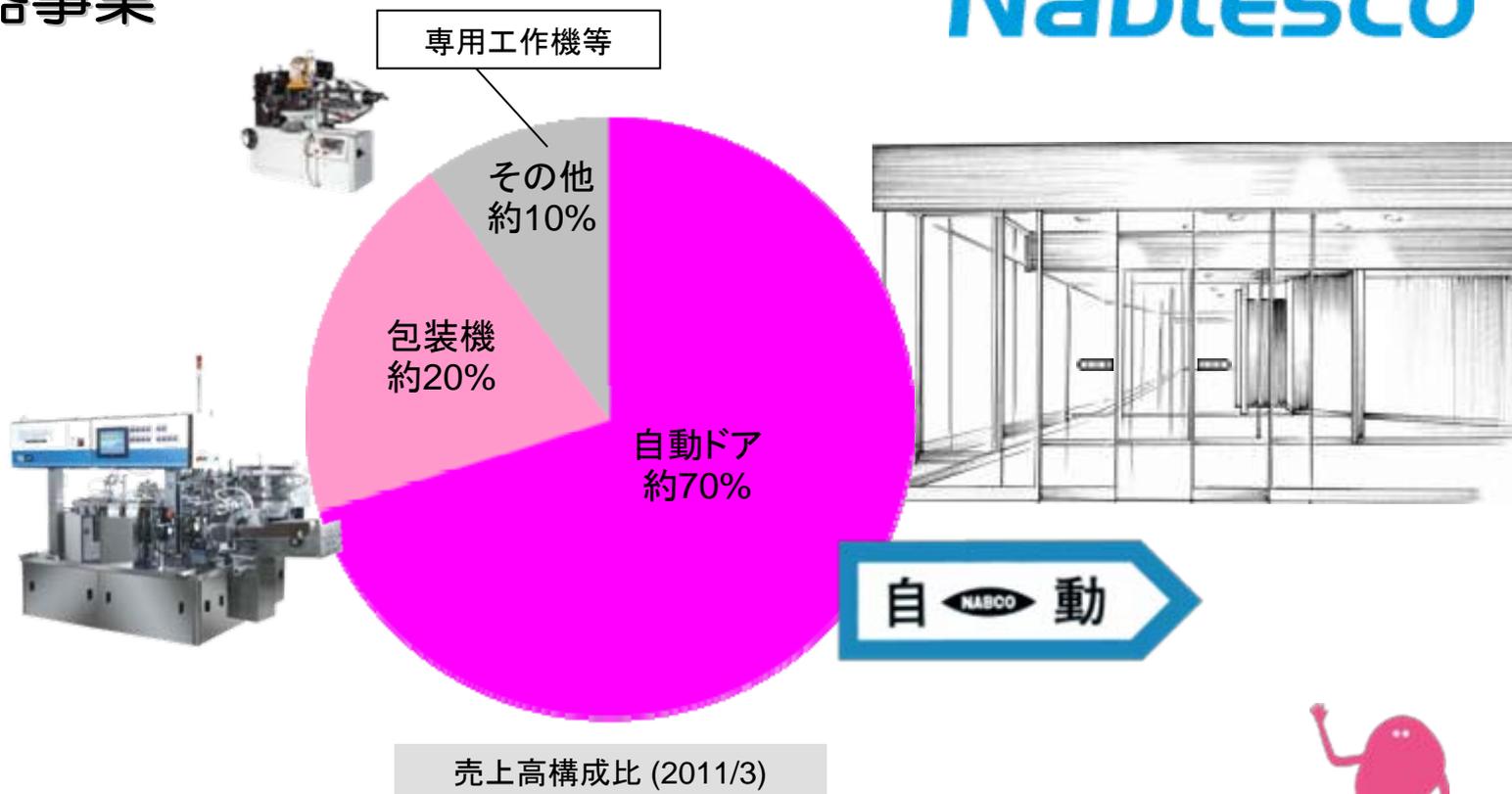
ボーイング、三菱重工業、川崎重工業、IHI、防衛省、全日本空輸、シンガポール航空

## 2011年3月期実績

(単位:百万円)	2010/3	2011/3	増減	率
売上高	41,492	59,106	17,614	42.5%
営業利益	1,804	5,609	3,805	210.9%
営業利益率	4.3%	9.5%		

### Notes:

- 油圧機器：建設機械向けは中国の伸び及びその他新興国における需要の回復により増収。  
風力発電機用駆動装置は米国市場の低迷により減収。
- 航空機器：主要機の一時的減産を受け民需は減少も、防衛向けの特需により増収。
- 油圧機器の増収により増益。



## 主要製品と顧客 (敬称略)

### ●自動ドア

各種建物用自動ドア: 大手ゼネコン各社、トステム、他

プラットフォームドア: 深セン地下鉄 (中)、北京地下鉄 (中)、重慶地下鉄 (中)、天津地下鉄 (中)、新益唐線 (韓)

### ●包装機 (東洋自動機)

味の素、日本食研、江崎グリコ、P&G、ライオン、Mars (仏)、Dole (米)



## 2011年3月期実績

(単位:百万円)	2010/3	2011/3	増減	率
売上高	27,589	29,575	1,985	7.2%
営業利益	1,902	2,220	317	16.7%
営業利益率	6.9%	7.5%		

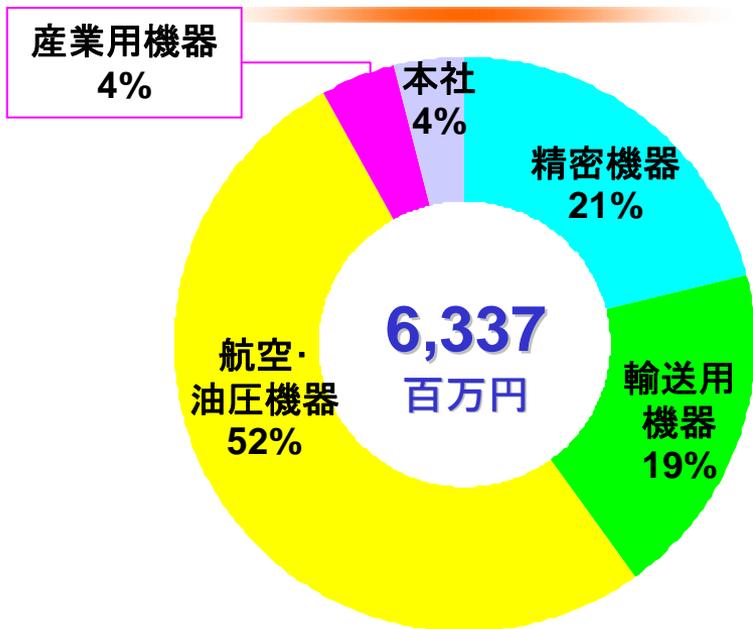
## Notes:

- 自動ドア関連: 緩やかながらも市況の回復が見られ、微増。
- 包装機: 国内外ともに食品業界の設備投資意欲が弱くほぼ横ばい。
- 専用工作機: 中国・韓国における需要増により、増収。
- 専用工作機の黒字転化により増益。

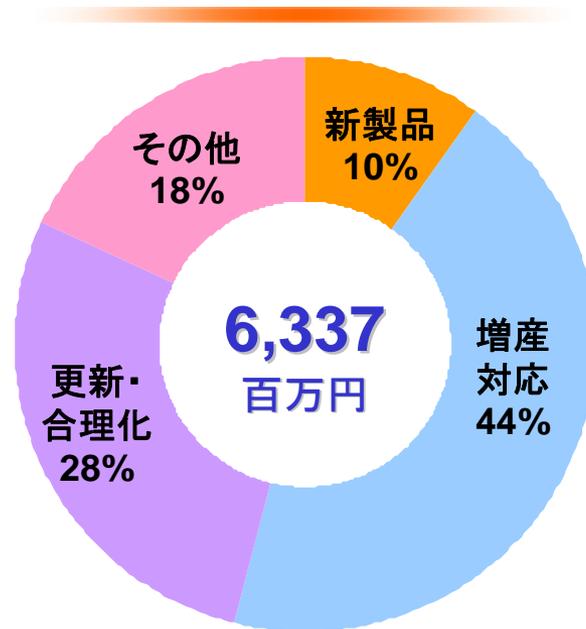
(単位:百万円)	2010/3 実績	2011/3 実績	差異
資 産	149,480	180,729	31,248
( 現 預 金 等 )	35,540	56,705	21,165
( 売 上 債 権 )	36,117	40,894	4,776
売上債権回転日数	103	83	20日
( 棚 卸 資 産 )	15,266	17,017	1,750
棚卸資産回転日数	59	46	13日
( 有 形 固 定 資 産 )	44,102	44,442	339
負 債	64,313	84,197	19,884
( 有 利 子 負 債 )	19,920	20,157	237
純 資 産	85,167	96,531	11,364
( 新 株 予 約 権 )	73	159	85
( 少 数 株 主 持 分 )	5,689	6,130	441
自 己 資 本	79,404	90,241	10,837
※ 自己資本比率:	53.1%	49.9%	

(百万円)	2010/3	2011/3	増減
設備投資額	4,809	6,337	1,527
研究開発費	3,746	3,911	165
減価償却費	5,485	5,391	-94

セグメント別設備投資額



目的別設備投資額



- 
- I. 2011年3月期連結業績概況
  - II. 中期経営計画のレビュー  
(2009年3月期～2011年3月期)
  - III. 新中期経営計画  
(2012年3月期～2014年3月期)

# 主要経営指標の達成状況



	2008年3月期 <実績>	2011年3月期 <中期計画>	2011年3月期 <実績>
売上高	1,742億円	2,100億円	1,693億円
営業利益	194億円	260億円	202億円
営業利益率	11.2%	12.4%	11.9%
当期利益	110億円	155億円	133億円
ROA	6.8%	7.8%	8.1%
ROE	14.7%	15.2%	15.8%
配当性向		最終年度30%	23.6%

# 2011年3月期セグメント別計画・実績比較



(単位:百万円)

セグメント	項目	中期 計画値	実績値	達成率	コメント
精密機器	売上高	37,000	32,438	88%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10/3自動車産業を中心とした設備投資の抑制による減</li> <li>● 製造費用を大きく改善</li> </ul>
	営業利益	5,000	6,466	129%	
輸送用機器	売上高	58,000	48,182	83%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 鉄道品質補償費用の増</li> <li>● 商用車国内需要の低調</li> <li>● 10/3新造船の先送りおよびキャンセル</li> </ul>
	営業利益	9,400	5,915	63%	
航空・油圧機器	売上高	76,000	59,106	78%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 10/3先進国建機需要の急減</li> <li>● 民間航空機の減少</li> </ul>
	営業利益	7,200	5,609	78%	
産業用機器	売上高	39,000	29,575	76%	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建築需要の後退</li> <li>● 包装機海外需要の低下</li> <li>● 10/3自動車業界設備投資の減退</li> </ul>
	営業利益	4,400	2,220	50%	
連結	売上高	210,000	169,303	81%	
	営業利益	26,000	20,212	78%	

- 
- I. 2011年3月期連結業績概況
  - II. 中期経営計画のレビュー  
(2009年3月期～2011年3月期)
  - III. 新中期経営計画  
(2012年3月期～2014年3月期)

*Global Challenge : Advance to the Next Stage*

～海外成長市場でさらなる飛躍へ～

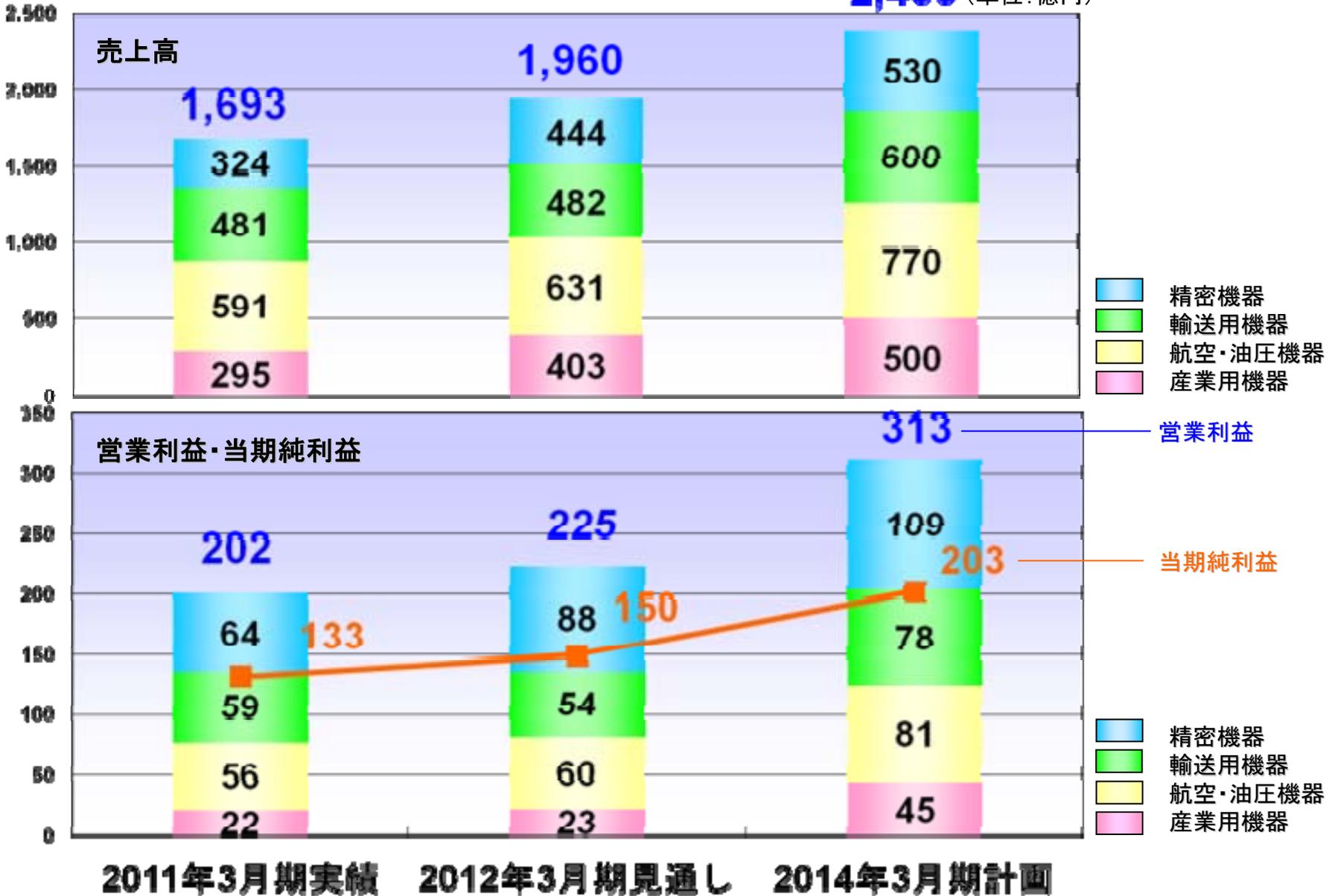
海外事業の強化・拡大とグローバル経営の推進、及び国内事業基盤の強化により、大グローバル競争時代を勝ち抜き、永続的な企業価値増大を目指す。

-  **グローバル人財の育成・強化**
-  **新興国市場の攻略(海外事業のさらなる強化・拡大)**
-  **国内での盤石な事業基盤強化**
-  **構造変化(産業・社会)に即した新事業の推進**
-  **グローバル連結経営体制の確立**

	2011年3月期 <実績>	2012年3月期 <計画>	2014年3月期 <計画>
売上高	1,693億円	1,960億円	2,400億円
営業利益	202億円	225億円	313億円
営業利益率	11.9%	11.5%	13.0%
当期利益	133億円	150億円	203億円
配当性向	23.6%	28.7%	30%
ROA	8.1%	8.0%	9.5%
ROE	15.8%	15.7%	17.0%

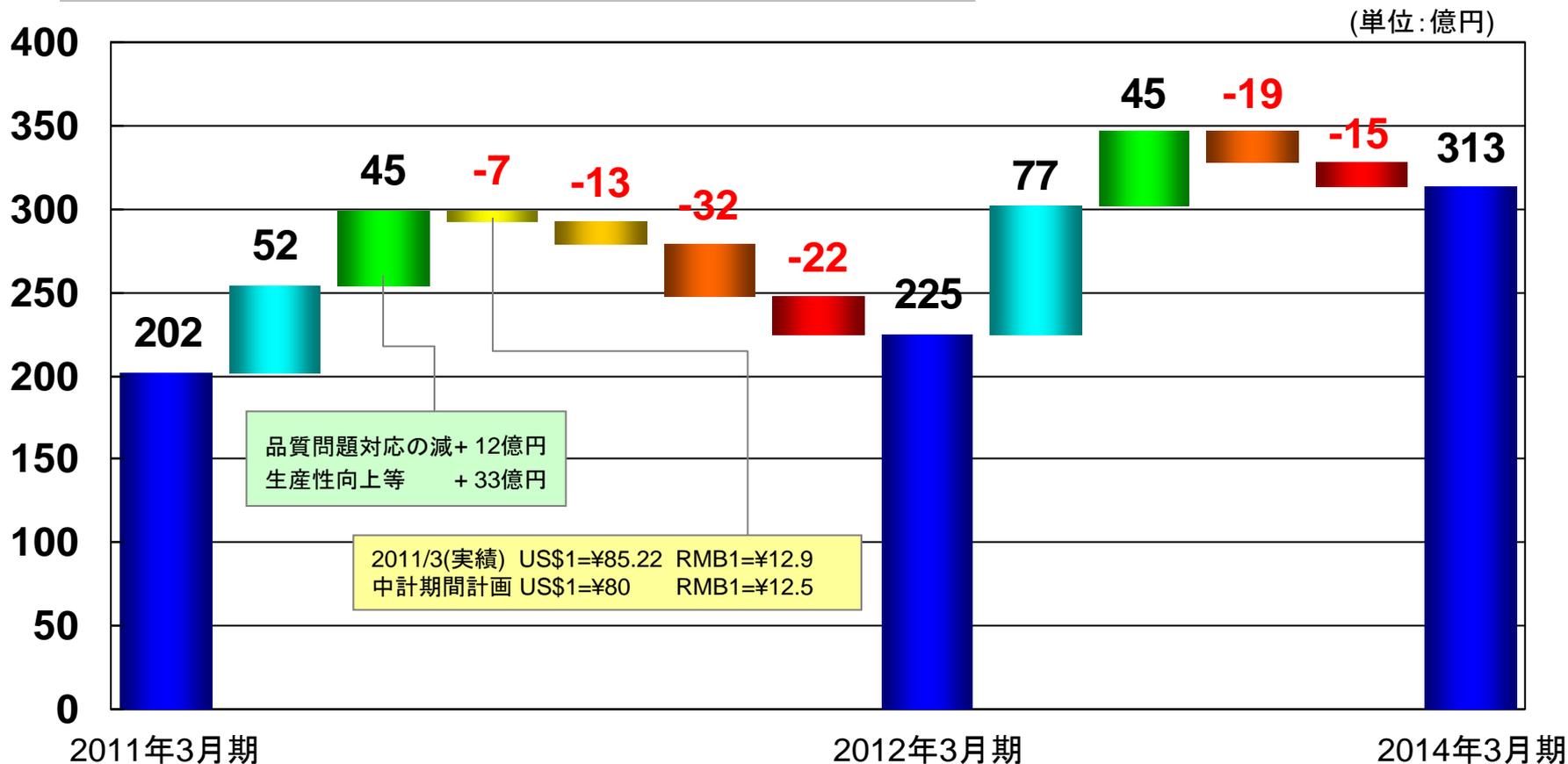
# 計数計画：セグメント別売上・利益

2,400 (単位: 億円)



# 計数計画：営業利益変動要因分析

- 売上の増
- コストリダクション・生産性向上・品質費用の減等 ■ 為替影響
- 原発・震災影響 ■ 減価償却費の増加 ■ 販管費の増減



※為替感応度: 米国ドル 70百万円 人民元365百万円

(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響)

# 設備投資額・研究開発費・減価償却費等

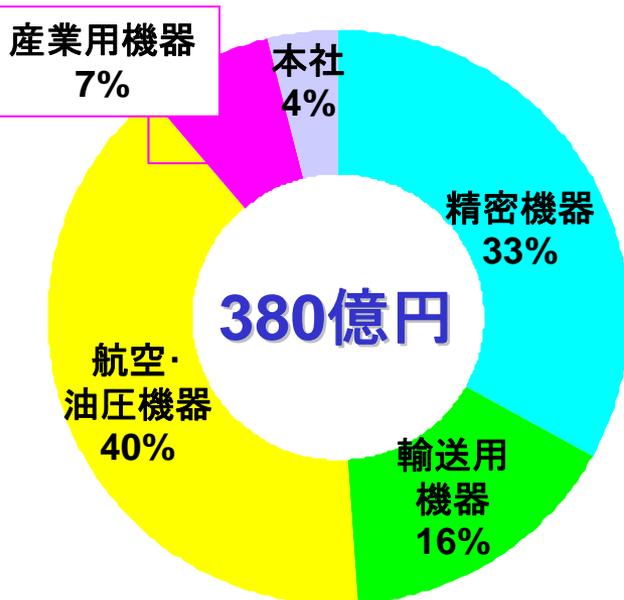
	3カ年累計
設備投資額	380 億円
事業拡大投資※	300 億円
研究開発費	150 億円
減価償却費	290億円

※グループ会社設立、M&A、アライアンス等のための出資額

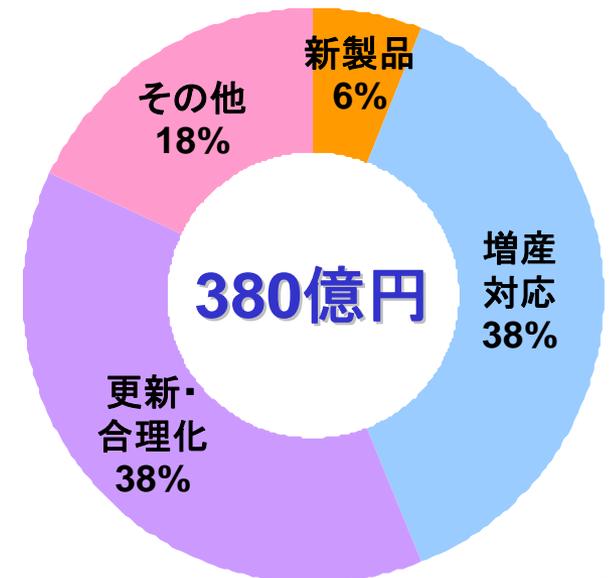
## セグメント別設備投資額

## 主な設備投資計画

## 目的別設備投資額



- 精密減速機  
増産用設備、設備更新
- 鉄道車両用機器  
新製品対応
- 商用車用機器  
新製品対応、自動化
- 船用機器  
新製品対応
- 油圧機器  
中国新工場設立  
国内工場増産・自動化用設備  
上海・タイ工場増産設備
- 航空機器  
設備更新、自動化
- 自動ドア  
販売網拡大



## 精密減速機事業環境

### 産業用ロボット：

- 新興国を中心とした堅調な自動車設備投資の伸びにより、成長軌道へ。
- 先進国・新興国双方での一般産業へのロボット用途拡大。

### 工作機械：

- 新興国市場での自動車産業向け需要が急増。
- 国内の設備投資回復は緩慢。

### 太陽熱発電：

- 北米、欧州での大規模商用発電プロジェクトが実証試験から本格化へ。

## 主要戦略

- 津工場の生産能力増強。
- 太陽追尾駆動装置開発を加速。
- 世界販売拠点(日、米、欧、中)の強化。

## 事業環境

### 鉄道車両用機器：

- 中国での高速鉄道、都市交通網の拡大が継続。その他新興国でも鉄道投資が増大。
- 先進国でも鉄道へのモーダルシフトが進行。

### 船用機器：

- 新造船竣工量は安定しているが、新造船受注の回復は2015年以降へ。
- 新型(電子化)エンジン向け新製品需要本格化も2014年以降へ。

### 商用車用機器：

- 国内市場の成長は期待薄。新興国の需要は急拡大。

## 主要戦略

- 鉄道車両用機器：合併会社による中国市場拡販及び欧州市場への参入。
- 船用機器：MRO\*ビジネスの拡大及び中韓市場での拡販。
- 商用車用機器：国内MROビジネスの拡大及び新製品の拡販。

\*MRO: Maintenance Repair Overhaul

# トピックス：鉄道事業の中国合併会社設立 **Nabtesco**

会社名称：江蘇納博特斯克今創軌道設備有限公司

所在地：中国江蘇省常州市

事業内容：都市交通向け鉄道車両用  
ブレーキ・ドア開閉装置の製造・販売等

設立目的：中国都市交通への拡販

資本金：18億円

出資比率：当社50% (連結対象)

生産開始予定：2012年1月～

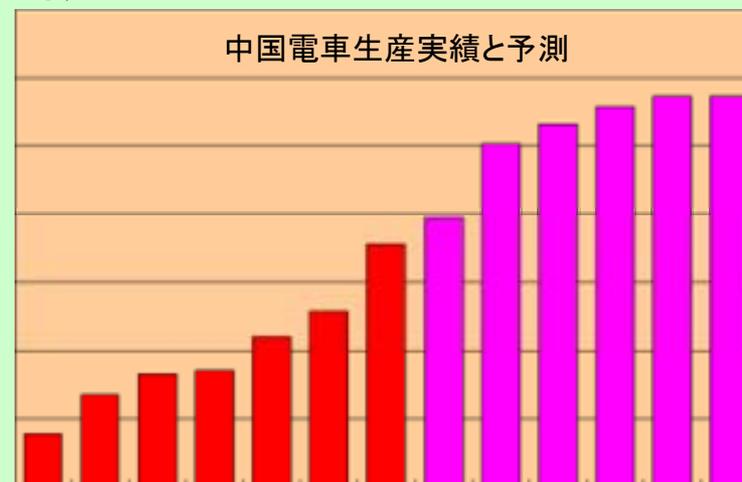


● 売上高見通し：

2013/3 15億円

2014/3 85億円

両数



(当社調査)

## 事業環境

### 油圧機器：

- 中国を中心とした新興国市場における油圧シヨベルの需要が好調。

### 風力発電機用駆動装置：

- 中国市場の拡大。北米市場の回復は2012年から。
- 風車の大型化、洋上化が進行。

### 航空機器：

- 防需は安定推移。
- B777の増産、B787、B747-8の量産化。
- MRJの初飛行予定：2012年6月。

## 主要戦略

- 油圧機器：グローバル生産拠点(日、中、タイ)の能力増強。
- 航空機器：MROビジネスの拡大。米国への一部生産移管。  
自動化投資等による生産抜本改革。

## 事業環境

### 自動ドア：

- 国内建築需要は低迷も、新興国の需要伸長に期待。
- 国内並びにアジアで鉄道駅用プラットホームドア需要が拡大。

### 包装機：

- 国内市場は成熟しているが、化成品向け需要は増。
- 欧米市場の投資環境は回復基調に入るが、弱い状況が続く。
- 東南アジア、中国市場の投資環境は活発。

### 専用工作機：

- 自動車メーカーの新興国での設備投資増加により需要回復へ。

## 主要戦略

- 自動ドア：国内外サプライチェーン見直し。  
Gilgen社統合による世界4極での事業展開。
- 包装機：中国大連現地法人(生産拠点)設立による中国市場シェア拡大。
- 専用工作機：カスタマイズ製品の上市と市場シェア拡大。

➡ 新名称：Gilgen Door Systems AG -A Member of Nabtesco Group-

➡ 本社所在地：スイス

➡ 事業内容：建物用自動ドア、鉄道用プラットフォームドア等

➡ 生産拠点：スイス、イギリス、中国

➡ 統合後世界マーケットシェア：

建物用自動ドア22%、鉄道用プラットフォームドア35%

➡ 統合目的：日、米、欧、中、世界4極の事業強化

➡ 投資金額：180億円

➡ のれん代及び償却期間：約137億円 20年償却

● 売上高見通し：

2012/3 110億円

2013/3 150億円

2014/3 150億円



うごかす、とめる。  
**Nabtesco**

